



「道の駅」は、鉄道の駅があるように、一般道路にも駅を。そんな発想から生まれました。

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び、活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の、3つの機能を併せ持つ休憩施設です。

青森県内では、令和3年12月までに28駅が登録されています。



道路管理体制

区分	名称	管理主体
高速自動車国道	東北縦貫自動車道	東日本高速道路(株)東北支社が管理しています。
一般国道	指定区間(国道4号、7号、45号、101号の一部、104号の一部)	国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所が管理しています。
	国道101号(一部)、102号、103号、104号(一部)、279号、280号、282号、338号、339号、340号、394号、454号 計12路線	青森県が管理しています。
県道	主要地方道47路線 一般県道185路線	青森県が管理しています。
有料道路	みちのく有料道路	青森県道路公社が管理しています。
	第二みちのく有料道路	
	青森空港有料道路	
市町村道	33,917路線	各市町村が管理しています。

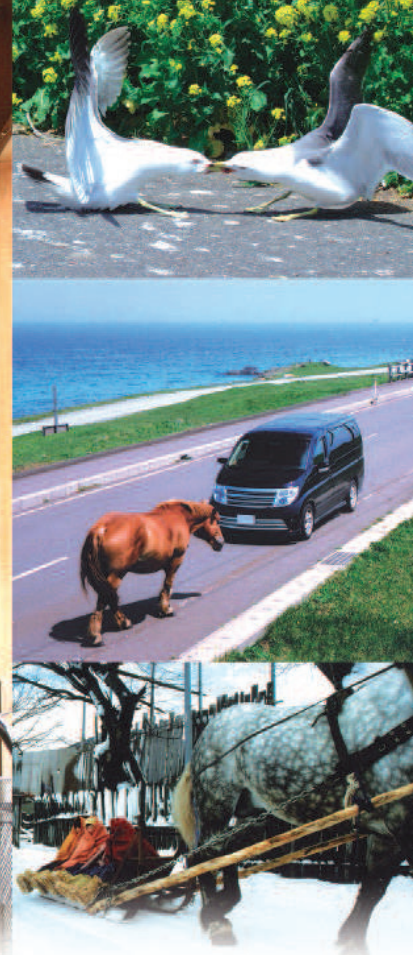


青森県 県土整備部 道路課
 〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号
 TEL: (代表) 017-722-1111 FAX: 017-734-8189
 ●青森県ホームページ: <http://www.pref.aomori.lg.jp>
 ●道路課ホームページ: <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/>
 ●道路課 e-mail: doro@pref.aomori.lg.jp

青い森のみちづくり

2022版

青森県



CONTENTS

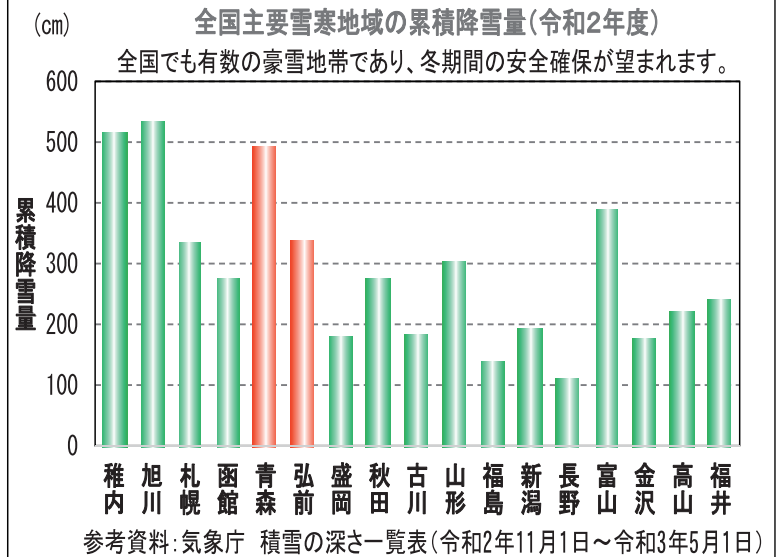
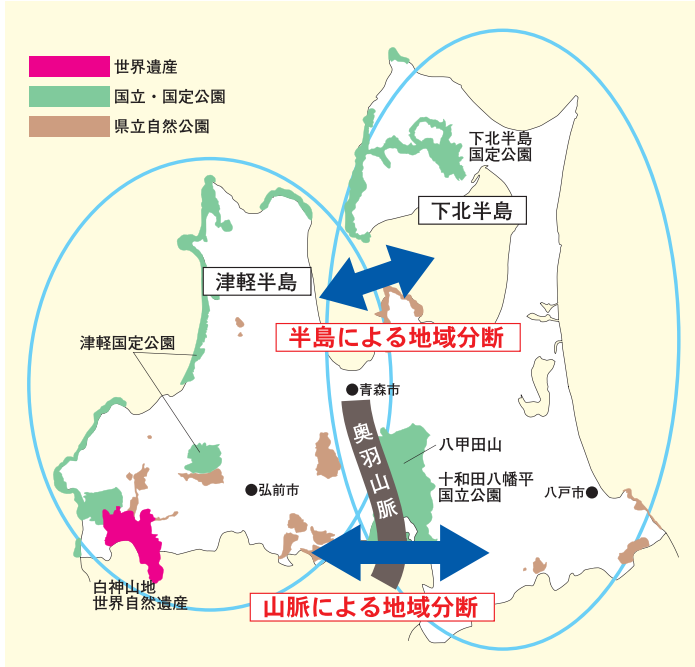
●青森県のすがた	1
●道路の現況と課題	3
●青森県の道づくり基本方針	
青森のみちの将来像	5
成果重視型の道路行政	6
●政策テーマ1 交流・連携	
交流促進と連携強化を支援する青森の道づくり	7
●政策テーマ2 雪	
雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	13
●政策テーマ3 安全・安心	
安全で安心な暮らしを支えるあおもりの道づくり	15
●政策テーマ4 都市機能の高度化	
都市機能の高度化を支援するあおもりの道づくり	18
●政策テーマ5 自然環境の保全	
あおもりの自然と調和し活用する道づくり	19
◆道路に関する予算	21
◆公共事業評価	22
◆高規格幹線道路	23
◆青森県の広域道路整備基本計画	25
◆青森県幹線道路網図	27
◆青森のこれまでのみちづくり	29
◆道路に関する情報発信	31

青森県のすがた

■青森の地勢

青森県は、世界遺産白神山地、十和田八幡平国立公園などに代表される豊かな自然環境を有しています。

しかし、その自然環境を形成する県土の地形は、津軽半島と下北半島の間にある陸奥湾や、中央を南北に連なる奥羽山脈が、青森・津軽地域と南部・下北地域を分断しています。



●面積	●人口
9,645.62km ²	1,216,386人
R3.10.1現在	R4.2.1現在
国土地理院	青森県推計人口
	青い森オープンデータカタログ



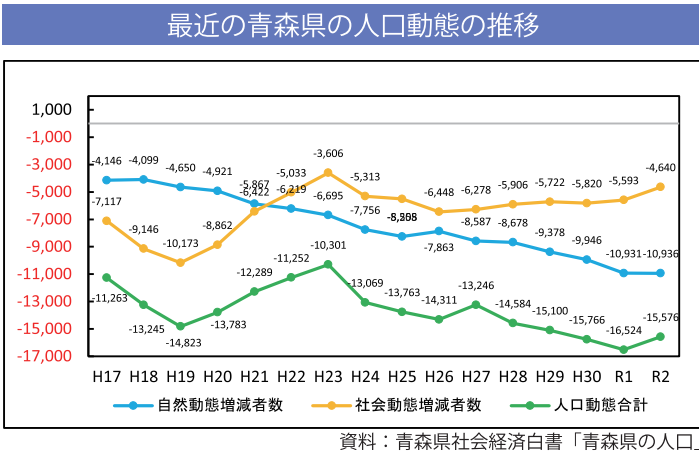
冬の道路状況(弘前市賀田)



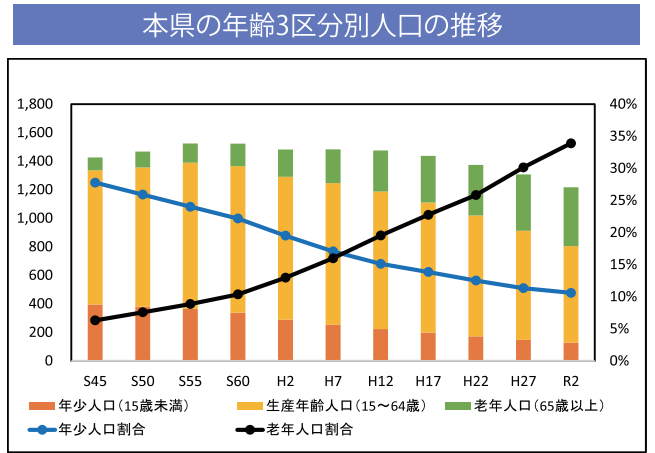
冬の道路状況(青森市筒井)

■人口減少と少子高齢化の進展

平成11年以降は、これまでプラスだった自然動態が、少子高齢化の進行によりマイナスに転じ、年々そのマイナス幅が拡大しています。このため、出生数の減少に歯止めをかけ、また若年者を中心とする県外への人口流出を食い止めるなど、総合的な少子化対策が必要となっています。



資料：青森県社会経済白書「青森県の人口」



資料：総務省「国勢調査」

注：1 自然動態=出生数-死亡数
2 社会動態=県外からの転入-県外への転出

■ 恵まれた観光資源

青森県には、三内丸山遺跡をはじめ、小牧野遺跡、是川遺跡、亀ヶ岡遺跡など、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が存在し、令和3年7月27日に世界文化遺産に登録されました。また日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、津軽の夏を彩る「弘前ねぶたまつり」、豪華絢爛な山車と囃子が魅力の「八戸三社大祭」、巨大な山車で圧倒的迫力を醸し出す「五所川原立佞武多」のほか、春を呼ぶ豊作祈願のお祭り「八戸えんぶり」、艶やかな桜が咲き誇る「弘前さくらまつり」など、優れた文化観光資源を有しています。

観光入込客数

(単位:千人)

		H29	H30	R1	R2
総数		15,553	16,376	14,393	11,202
うち	日帰客	11,360 (73%)	11,405 (70%)	10,095 (70%)	8,367 (75%)
	宿泊客	4,193 (27%)	4,971 (30%)	4,298 (30%)	2,834 (25%)
うち	県内客	8,903 (57%)	9,329 (57%)	7,977 (55%)	7,260 (65%)
	県外客	6,433 (41%)	6,789 (41%)	6,099 (42%)	3,899 (35%)
うち	冬期観光客	5,333 (34%)	5,560 (34%)	4,372 (30%)	4,427 (40%)

出典：県観光企画課「令和2年青森県観光入込客数統計」

主要行催事・イベント入込客数

(単位:千人)

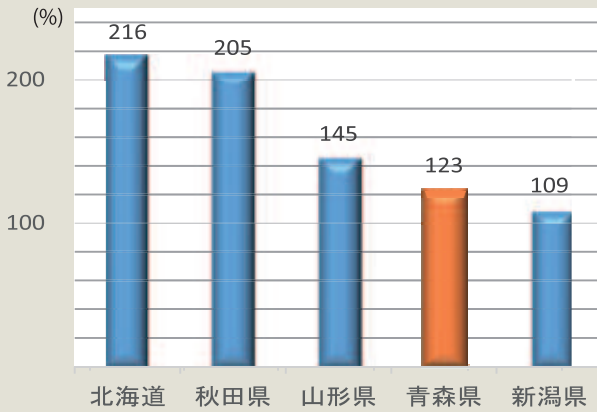
行催事・イベント名	開催市町村名	入込客数			
		H28	H29	H30	R1
青森ねぶた祭	青森市	2,760	2,820	2,800	2,850
弘前さくらまつり	弘前市	2,360	2,510	2,540	2,890
弘前ねぶたまつり	弘前市	1,700	1,650	1,600	1,680
五所川原立佞武多	五所川原市	1,110	1,180	1,240	1,290
八戸三社大祭	八戸市	1,178	1,492	1,403	1,452
八戸えんぶり	八戸市	233	241	293	306

出典：県観光企画課「令和2年青森県観光入込客数統計」

■ 農林水産業の高いポテンシャル

青森県の食料自給率は117%（全国4位）と高く、食料供給県として、様々な品目で全国上位の生産量を誇ります。本県で生産されたものは、販売事業者や物流関連事業との連携強化により、鮮度を保った輸送が行われるなど、生産

全国有数の食料自給率



令和元年度(カロリーベース)

資料：農林水産省

全国有数の農業県

農業産出額 全国7位
果実産出額 全国1位

出典：令和2年 農林水産省統計

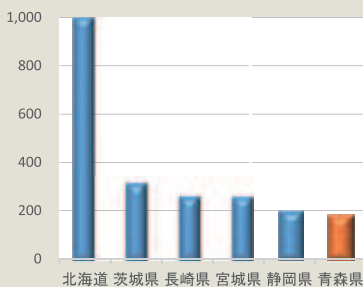
収穫量が全国上位の農産物

品目	全国収穫量 (t)	県収穫量 (t)	全国順位
りんご	763,300	463,000	1
にんにく	21,200	14,300	1
ごぼう	126,900	48,000	1
あんず	2,068	1,258	1
フサスグリ	11	7.6	1
ながいも	149,500	57,300	2
なたね	3,580	398	2
くるみ	121	38	2
マルメロ	145	11	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2021

全国有数の水産業県

海面漁業・養殖業生産量



内水面漁業・養殖業生産量



令和2年 漁業・養殖業生産統計(単位:千t)

漁獲量が全国上位の水産物

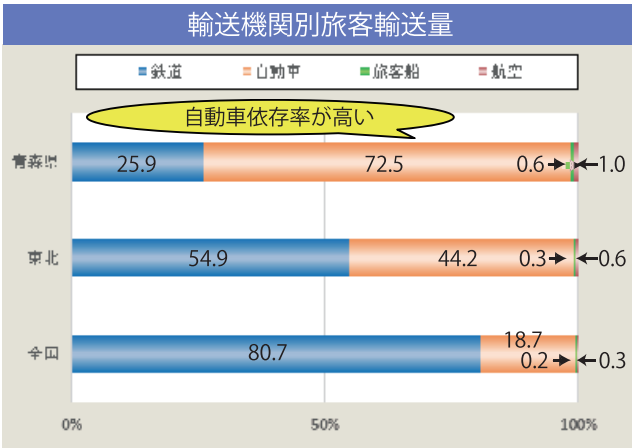
品目	全国漁獲量 (t)	県漁獲量 (t)	全国順位
わかさぎ	981	414	1
しらうお	565	287	1
こい	175	88	1
うぐい・おいかわ	163	94	1
いか類	72,974	17,350	1
ほたてがい	144,466	98,448	1
くろまぐろ	10,236	1,426	2
こんぶ類	46,543	1,118	2
しじみ	9,520	2,816	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2021

道路の現況と課題

青森県は、全国と比較し公共交通網が十分行き届いていないこともあり、移動手段の殆どを自動車に頼っている状況です。しかし、主要都市間の移動にはまだ多くの時間を要しており、地域間交流・産業経済活動に一部支障をきたしています。また、本県は全国有数の豪雪地帯であることから、特に冬期間の道路空間確保が課題となっています。さらに、県内には歩道の未整備区間や斜面对策が必要な箇所が多く存在します。

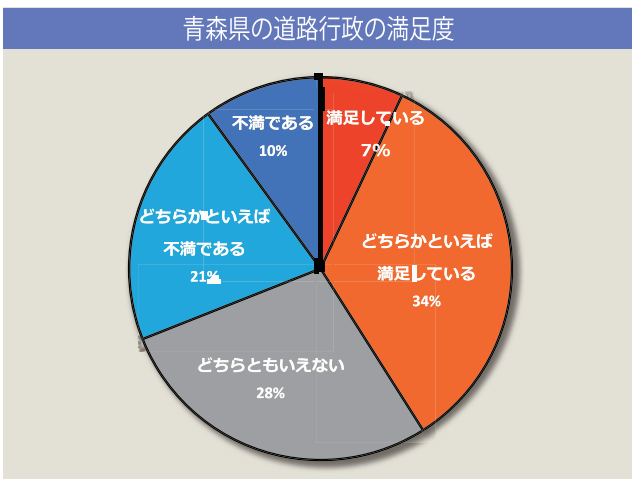
安全・安心な道路環境確保のため、これらの課題に対し、県民の皆さんのご理解とご協力を頂きながら、より効率的・効果的な対策の実施に努めていきます。



資料：R元年旅客地域流動調査 府県相互人員表から算出



資料：H27 全国道路・街路交通情勢調査 非混雑時旅行速度調査結果から算出



資料：H29青森県ウェブアンケート

県民が道路行政に期待していること

1	除雪・排雪の充実	4	都市間の道路整備
		5	道路安全施設の充実※2
2	日常的な維持管理※1	6	渋滞の解消
		7	急カーブ、急勾配の解消
3	歩行者空間の確保	8	分かりやすい道路情報
		9	道路案内標識等の充実

※1 舗装の穴埋めや既設側溝の蓋交換など

※2 ガードレールや照明灯など

資料：H29青森県ウェブアンケート

青森県の道路現況

R2.3.31現 在(確定値) 単位:km

	路線数	実延長(km)	改良状況		舗装状況		橋 梁		トンネル	
			改良済み(km)	改良率(%)	舗装済み(km)	舗装率(%)	箇所	延長(km)	箇所	延長(km)
国道(直轄管理)	5	327.8	327.8	100.0	327.8	100.0	175	12.4	6	2.0
国道(県管理)	12	1,118.3	962.4	86.1	931.0	83.3	758	18.6	20	5.8
国 道 計	15	1,446.0	1,290.2	89.2	1,258.8	87.1	933	31.0	26	7.8
主 要	47	1,232.9	959.4	77.8	818.1	66.4	655	18.3	8	2.7
一 般	185	1,269.7	758.3	59.7	720.2	56.7	852	21.2	8	5.4
県 道 計	232	2,502.5	1,717.8	68.6	1,538.3	61.5	1,507	39.5	16	8.1
県管理計	244	3,620.8	2,680.2	74.0	2,469.3	68.2	2,265	58.1	36	13.9
国県道計	247	3,948.6	3,008.0	76.2	2,797.1	70.8	2,440	70.4	42	15.9
市町村道	33,917	16,117.0	9,666.5	60.0	3,979.6	24.7	4,443	65.0	13	1.3
合 計	34,164	20,065.5	12,674.5	63.2	6,776.7	33.8	6,883	135.5	55	17.2

注1：有料道路を含み、自転車道を除く。注2：指定区間国道は、4号、7号、45号の他に、101号、104号の一部を含む。

出典：道路統計年報2021

注3：改良延長は県道が車道幅員5.5m以上、また市町村道は5.5m未満を含む。舗装延長は簡易舗装を除く。注4：端数整理の為、合計が合わない場合があります。

●地域間交流・連携への支援が必要



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)

●雪に強いまちづくりが必要



すれ違い困難 (主要地方道青森東インター線 青森市)



地吹雪による視界不良 (一般県道川除木造線 つがる市)

●安全・安心な暮らしの確保が必要



歩道の未整備区間 (国道454号 新郷村)



落石危険箇所 (一般県道酸ヶ湯高田線 青森市)

●都市環境の向上が必要



都市部の渋滞 (国道103号 青森市)








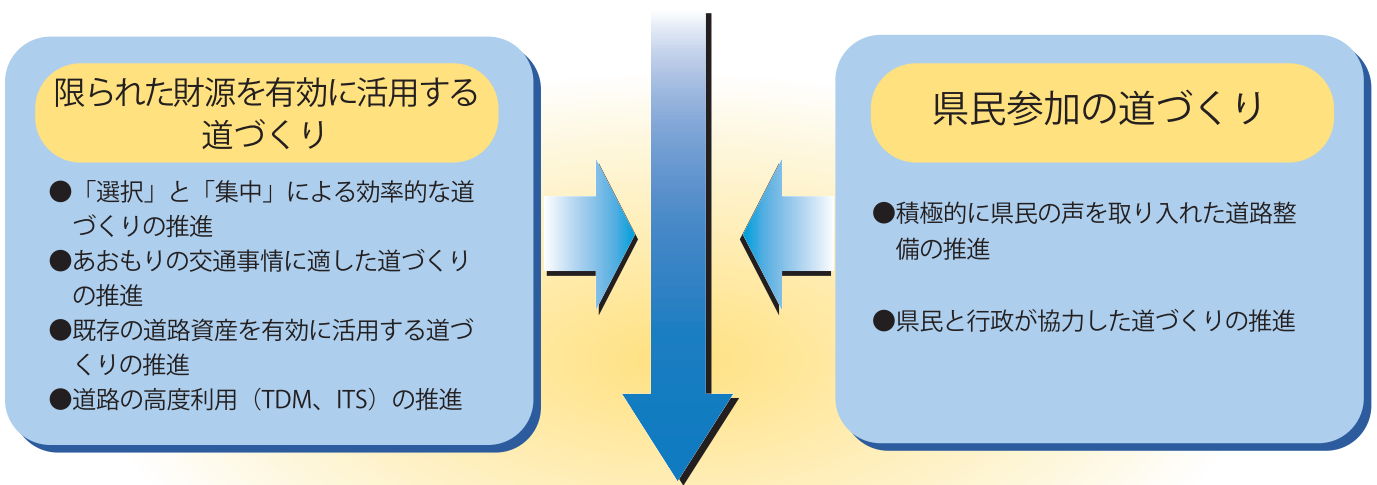
電線類の錯綜 (主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線 弘前市)

青森県の道づくり基本方針

道路事業の実施にあたっては、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦で掲げた「生業」と「生活」が循環する「経済を回す」仕組みづくりの実現を図るため、「青森のみちの将来像」の5つの基本方針に基づいて、「県民の幸せを支える道づくり」を目指して 効率的・効果的な事業の推進に努めています。

■青森のみちの将来像

基本方針（政策）	政策テーマ	政策目標
交流促進と 連携強化を 支援する あおもりの 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●生活・経済圏間の連携強化を支援します。 ●観光拠点間のアクセス性強化を支援します。 ●農水産品の都市への円滑な輸送を支援します。 ●国土保全を担う中山間地域と都市との連携を支援します。 ●交通拠点へのアクセス性強化を支援します。 ●救急医療体制を支援します。
雪国あおもりの 暮らしを支える 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●冬のおもりに対応した道路構造を確保します。 ●冬期バリアフリーを推進します。 ●冬のおもりに対応した除雪の充実を図ります。 ●地吹雪に対する防雪施設の充実を図ります。
安全で安心な 暮らしを守る あおもりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●事故危険箇所等における交通安全対策を推進します。 ●災害時における代替性のある道路網を確保します。 ●道路防災対策の推進による安全安心を確立します。
都市機能の 高度化を支援する あおもりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●渋滞の解消による、良好な生活環境の創出を図ります。 ●ゆとりある歩行空間・彩りある街づくりを進めます。
あおもりの 自然と調和し活用 する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全等に配慮する道づくりを進めます。



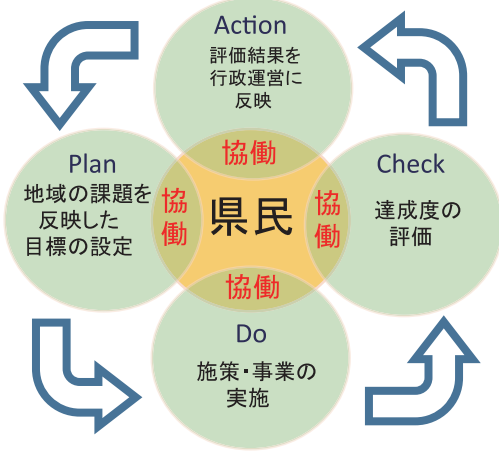
県民の幸せを支える道づくり

※基本方針と政策目標については、学識経験者や県民の意見を踏まえ、平成15年3月に「青森のみちの将来像」として取りまとめました。

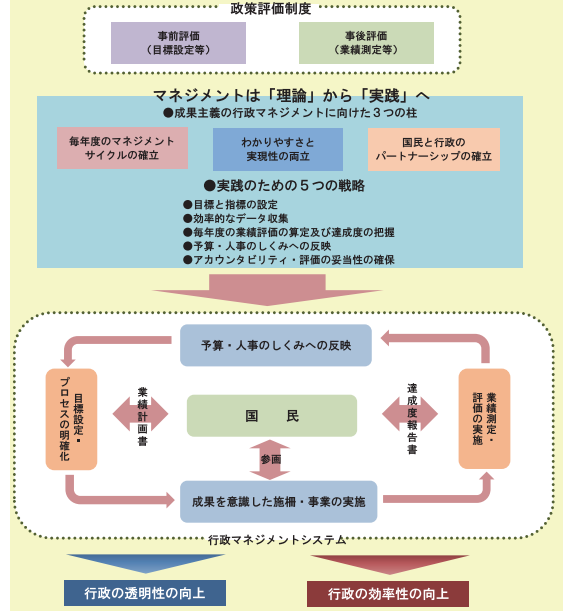
■成果重視型の道路行政

これまでの、「バイパスを〇〇Km整備します」といった量的な目標（指標）に基づいて事業を行ってきましたが、平成15年度からは「バイパスや歩道の整備により交通事故を△△件減少させる」といった、事業によって得られる“成果”を重視する 道路行政マネジメントに取り組んでいます。

成果目標を持ち（Plan）、成果を求めて取り組み（Do）、結果を評価し（Check）、評価結果を行政運営に反映させる（Action）成果重視型の道路行政を進め、より透明性・客観性の高い事業の転換に努めていきたいと考えています



【道路行政マネジメントシステムのイメージ図】



道路整備による成果の一例

むつ市から七戸町を繋ぐ、下北半島縦貫道路の整備事業によって得られる成果を紹介します。

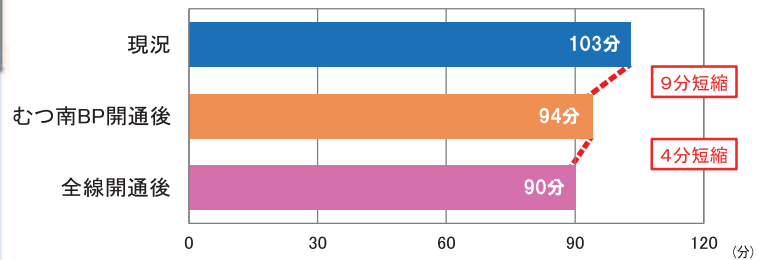
下北半島縦貫道路の整備により、三次救急医療施設である県立中央病院の60分圏域が拡大されます。さらに二次救急医療施設であるむつ総合病院から青森県立中央病院への救急搬送には、未整備の状態では約2時間要しますが、全線供用後は30分以上の時間短縮がされるなど、地域の医療サービスが向上します。

【成果の一例】

救急医療体制の強化



【むつ市～青森市の所要時間の変化】



大動脈解離、くも膜下出血、異常分娩による母体搬送などは青森市へ救急搬送されている。
(H27～R1の5年間で243件)

※むつ総合病院～県立中央病院の所要時間を表示
 現況:「横浜吹越IC～野辺地IC」を利用
 むつ南BP開通後:「むつIC～むつ南IC」及び「横浜吹越IC～野辺地IC」を利用
 全線開通後:「下北半島縦貫道路」を利用
 出典:H27全国道路・街路交通情勢調査(非混雑時、下り)を採用
 未供用区間については、道路構造に応じた速度を採用

■青森県の幹線道路網について

高規格幹線道路をはじめとした広域的な高速道路体系の整備とともに、地方生活圏中心都市間の連携や交通拠点へのアクセス強化などを支援する国道・県道の整備を推進します。

令和3年度の整備箇所と令和4年度の開通・整備予定箇所

	令和3年度整備箇所			令和4年度開通・整備予定箇所		
	路線名	箇所名	延長	路線名	箇所名	延長
一般道路	① 一般県道 清水川滝沢野内線 三本木工区	青森市	0.7km	① 一般国道280号 砂ヶ森工区	今別町	0.9km
	② 一般県道 後平馬尻屋線 五庵ノ下工区	七戸町	1.1km	② 八戸都市計画道路 3・5・1 沼館三日町線 (部分供用)	八戸市	0.2km
地域高規格幹線道路				③ 一般国道45号 上北自動車道 天間林道路(※)	七戸町	8.3km
				④ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス(部分供用)	むつ市	2.1km

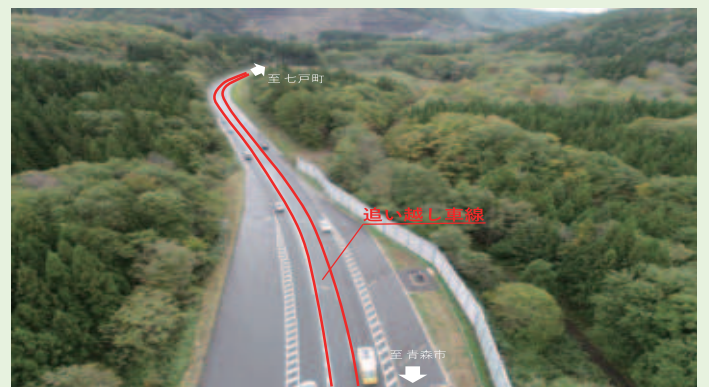
現在進められている主な事業

路線名	箇所名	延長
① 一般国道101号 津軽自動車道 柏浮田道路(※)	つがる市	12.3km
② 一般国道103号 奥入瀬(青撫山)バイパス(※)	十和田市	5.2km
③ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	7.4km
④ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 奥内バイパス	むつ市	11.0km
⑤ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜北バイパス	むつ市 ～横浜町	10.4km
⑥ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜南バイパス	横浜町	7.0km
⑦ 一般国道4号 下北半島縦貫道路 野辺地七戸道路(※)	野辺地町 ～七戸町	7.1km
⑧ 一般県道 後平青森線 後平バイパス	七戸町	1.6km

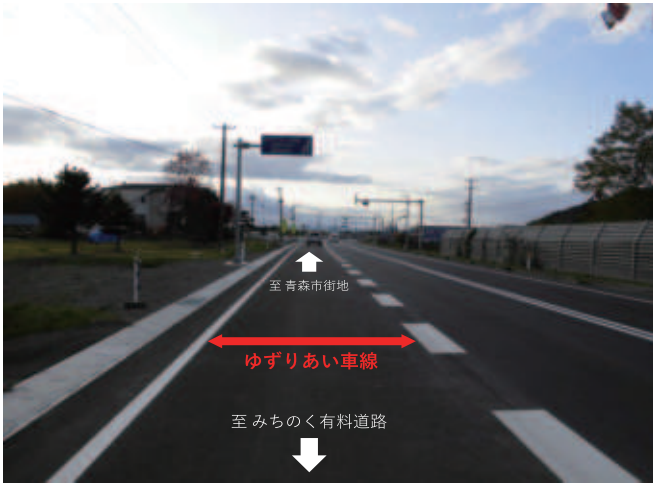
(※)は国土交通省青森河川国道事務所の事業です。



一般国道280号 砂ヶ森工区
(令和4年度開通予定)



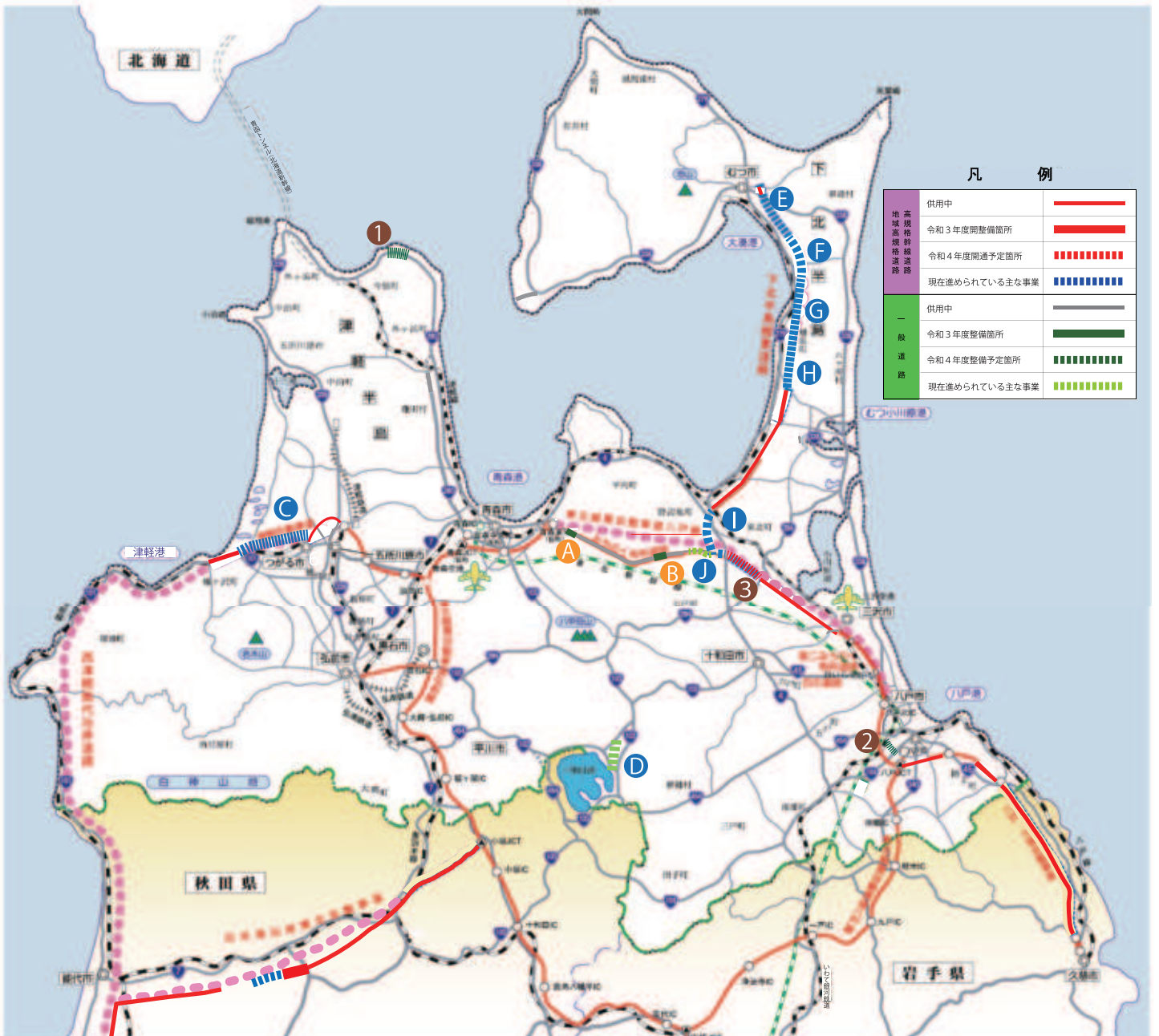
一般県道 後平馬尻線 五庵ノ下工区(追い越し車線)
(令和3年10月13日供用)



一般県道 清水川滝沢野内線
三本木工区(ゆずりあい車線)
(令和3年11月4日供用)

青森都市計画道路3・4・2号西滝新城線
(令和2年12月完成)

事業位置図



■上北自動車道

一般国道4号及び45号は県都青森市と第二の都市八戸市を直結する唯一の幹線道路でありながら、急カーブ、急勾配、交通混雑、交通事故多発等の問題が発生しています。

上北自動車道は、第二みちのく有料道路や百石道路へのアクセス強化を促し、一般国道4号及び45号の交通混雑緩和や交通事故の減少、沿道環境の改善を図り、県都青森市と八戸市をはじめ、地域間の連携強化を担う総延長約24kmの自動車専用道路です。



■下北半島縦貫道路

下北地域の中心都市であるむつ市を起点とし、上北郡七戸町で東北縦貫自動車道八戸線と連絡する延長約68kmの地域高規格道路で、広域交流の促進や地域間の連携強化を図るものです。



下北半島縦貫道路の必要性

- ①半島性の解消、地域間交流の促進
青森市～むつ市間を概ね1時間で連絡
- ②物流ネットワークの強化
定時性の確保、安全性の向上
- ③救急医療体制の支援
三次救急医療施設への連絡強化
- ④国家プロジェクトの支援
エネルギー供給基地へのアクセス強化

令和4年度の整備方針

- むつ南バイパス(L=8.7km)
むつ市街地で慢性的に発生している交通渋滞緩和を図るため、改良工事を推進し、むつIC～むつ尻屋崎ICの2.1kmを部分供用します。
- 横浜北バイパス(L=10.4km)
豪雪等災害時における代替路の確保、横浜ICに直結する道の駅「よこはま」との連携を図るため、改良工事を推進するとともに、横浜IC以北の用地取得に着手します。
- 横浜南バイパス(L=7.0km)
第1次緊急輸送道路の機能強化、救急医療施設へのアクセス向上を図るため、用地取得を推進するとともに、改良工事も推進します。
- 奥内バイパス(L=11.0km)
下北半島縦貫道路のミッシングリンク解消、国道279号のダブルネットワーク化を図るため、測量、調査、設計に着手します。

供用区間の整備効果

高速性・定時性の確保

開通区間の並行現道には、信号の連続により渋滞する野辺地市街地やJR大湊線と平面交差する踏切があるため、通過するのに非常に時間がかかりました。



渋滞する野辺地市街地



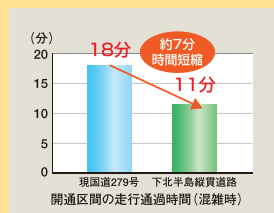
JR大湊線と平面交差する踏切

開通

現道の障害を回避することができ、また交差道路はすべて立体構造のため、高速性・定時性を有した安定走行が可能となりました。



開通により安定走行が可能



安全性の確保

県内有数の豪雪地帯である野辺地町の市街地において、路肩への堆雪により、道路幅が狭くなり、走行性の悪化が発生していました。またアップダウンが激しい箇所が存在し、視認性が悪く、冬期のスリップ事故の原因となっていました。



路肩堆雪による幅員狭小状況



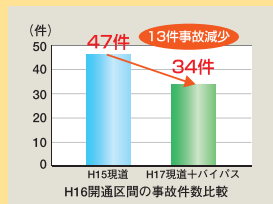
アップダウンの激しい現道

開通

路肩を広くとっているため、冬期における十分な車線幅の確保が可能となりました。また中央分離構造や非常に緩やかな線形・縦断勾配での整備により、走行の安全性が図られました。



開通により安定走行が可能



野辺地バイパスへの救急車退出路の設置 (平成19年12月22日供用開始)

横浜町及び六ヶ所村方面から公立野辺地病院への救急搬送路の状況改善のため、既に供用している野辺地バイパスの病院付近に救急車退出路を設置し、搬送時間の短縮や救急患者への負担軽減を図るものです。

■ 退出路設置前の搬送経路
■ 退出路設置後の搬送経路



搬送路の問題点



- ・市街地内の渋滞による搬送時間への影響
- ・加減速による患者への負担、救急車内の初期治療への障害
- ・冬期間は更に状況が悪化(搬送時間増、振動発生)

救急車退出路の整備



- 搬送時間の短縮、定時性の確保
- 安定走行による患者への負担軽減、初期治療の安全性の向上
- 年間を通じて、安定した救急搬送が可能